

新入会員自己紹介

2021年6月5日

*以下敬称略・50音順

○相田 美砂子 (あいだ みさこ)

- ・退職年
2020年(理学研究科)
- ・専門分野
量子化学
- ・職歴等主な活動歴
国立がんセンター研究所研究員、広島大学教授、広島大学副学長（大学経営企画担当）、
広島大学理事・副学長（大学改革担当）、日本学術会議会員
- ・【広大マスターズへの抱負】 地域社会での活動可能事項
男女共同参画推進関連 理系に女性をふやすための取組

○青木 孝夫 (あおき たかお)

- ・退職年
2021年(人間社会科学研究科)
- ・専門分野
美学芸術学
- ・職歴等主な活動歴
広島大学総合科学部専任講師、同助教授、広島大学大学院・総合科学研究科助教授、
同准教授、同教授、人間社会科学研究科教授
- ・【広大マスターズへの抱負】 地域社会での活動可能事項
美学芸術学とくに日本の美意識や芸術についての講義等

○小原 政信 (おばら まさのぶ)

- ・退職年
2020年(統合生命科学研究科)
- ・専門分野
腫瘍生物学、分子生物学、細胞生物学、生化学
- ・職歴等主な活動歴
米国国立ガン研究所博士研究員、東京大学医科学研究所癌生物 学部門助手、

理化学研究所基礎科学特別研究員、新技術事業団 ERATO 研究員、広島大学 理学部・助教授、大学院理学研究科・准教授、教授、副学部長、副研究科長、広島大学評議員

・【広大マスターズへの抱負】地域社会での活動可能事項

○中学生へ向けて 研究者への道；どうやったらなれたか？

○高校生へ向けて SSH（スーパーサイエンスハイスクール）等への助言

○清水 典明(しみず のりあき)

・退職年

2021年(統合生命科学研究科)

・専門分野

分子生物学、がん生物学、染色体の動物細胞工学。広島大学では、ヒト細胞の中で特定の遺伝子の数が増えたり減ったりすること（遺伝子増幅）を追求。遺伝子増幅の研究から、ヒト細胞の染色体外因子や微小核の研究につながり、遺伝情報が変化していくことへの理解や細胞が癌化する機構の理解、さらにそれをバイオ医薬品の製造技術に応用する研究を行った。

・専門にかかわらない特技、趣味等

自然の中を歩くこと。広島県の有人島をすべて歩いた。ほかに本を読むことや音楽を聴くこと。

・職歴等主な活動歴

京大農学部卒。大学院は京大ウイルス研究所でインターフェロンの研究。理学博士。山之内製薬（現アステラス製薬）の中央研究所（東京都板橋区）で5年8ヶ月、遺伝子工学を用いてバイオ医薬品候補の研究を行った。昭和63年12月（平成になる1ヶ月前）に広島大学に着任し、以後32年4ヶ月間勤務した。平成6年から1年半、カリフォルニアのソーク生物科学研究所に留学した。帰国後、総合科学部から生物生産学部に移籍したが、研究室は一貫して総合科学部でお世話になった。大学院は長らく生物圏科学研究科で、最後は統合生命科学研究科に所属した。2021年3月に退職し、その後は名誉教授。欧米での学会講演、広大での英語の講義、等、英語は得意ではないが可能。もともと総科なので、教養教育の化学を32年間さんざん担当した。市民公開講座等で生命の話をしたりした。大学入試は化学と生物両方を多数回担当した。学振、AMED、JST、の審査委員を長年多数経験した。動物細胞内での独自の遺伝子増幅技術について特許をたくさん取り、たくさんの企業と共同研究をした。

・【広大マスターズへの抱負】地域社会での活動可能事項

○小学生や園児へ向けて いきものの「いのち」や「からだ」について、わかりやすく面白く話ができる・・・かもしれない。

○中学生へ向けて 理科、特に化学と生物について、興味を持ってもらえるような話ができる・・・かもしれない。

○高校生へ向けて 生命とは、分子の言葉でどのように理解できるのか、について、

興味を持ってもらえるような話ができる・・・かもしれない。

○成人へ向けて 生きているとはどういうことなのか、について、こちらから話題提供をした上で、一緒に考える、といったことは可能・・・かもしれない。

○その他、地域社会において可能な活動 農業に興味がある。農家の人の作業を手伝ったり、生き物の話をしたり聞いたりできればいいなと思う。

○谷本 秀康 (たにもと ひでやす)

・退職年

2016年(総合科学研究科)

・専門分野

英語教育、異文化コミュニケーション、同時通訳(英語・日本語)

・専門にかかわらない特技、趣味等

マジック

・職歴等主な活動歴

広島大学(1989年～2016年)、同時通訳者(1977年～)、ワイズメンズクラブ
国際協会(奉仕団体)会員:1995年～

・【**広大マスターズへの抱負**】地域社会での活動可能事項

○小学生や園児へ向けて 語学講座・講演会・セミナー:異文化理解、英語(英会話)
の効果的な学習法等について

○中学生へ向けて 同上

○高校生へ向けて 同上

○成人へ向けて 同上

○吉村 幸則 (よしむら ゆきのり)

・退職年

2021年(統合生命科学研究科)

・専門分野

動物生産学(畜産学)

・職歴等主な活動歴

広島大学生物生産学部助手・同助教授・同教授、国際協力研究科 教授、生物圏科学研究科教授、統合生命科学研究科教授

・【**広大マスターズへの抱負**】地域社会での活動可能事項

○中学生へ向けて 卵やニワトリを育てる話

○高校生へ向けて 卵やニワトリを育てる話

以上